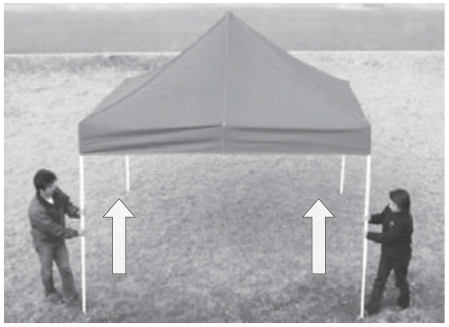
(2014 EXPRESS II 10x10)

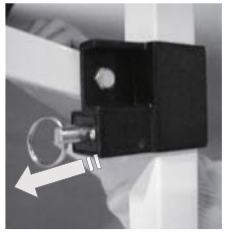
収納手順

1 お互いにコーナーポスト上部を少し持ち上げ、プルピンロックを引っ張ってコーナーポスト下部を収納します。
4本全て行います。

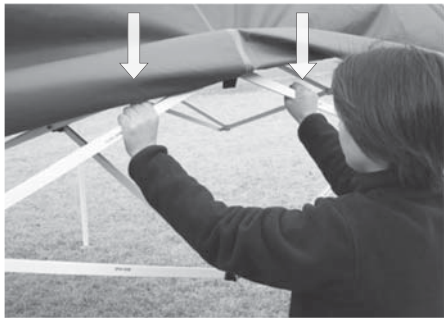
【プルピンロック】



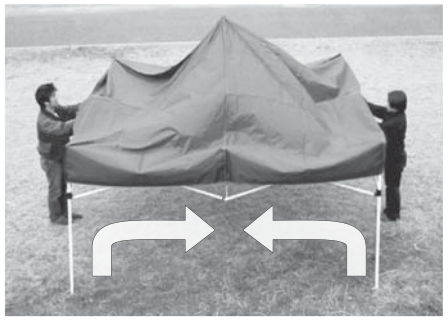
2 天幕の角部分をめくり、プルピンを引っ張ってロックを解除します。



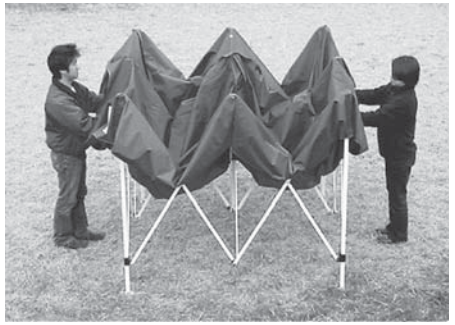
3 矢印部分を握り、テントを完全に持ち上げながら、前進してください。



少し揺さぶりながら行うと、動かしやすいです。



4 静かに一旦降ろします。コーナーポストを両手で握り、テント中心部に向けてゆっくりと押し込みます。



手や指を挟まないよう、急がずに行って下さい。

DR30-14 ドリーム取扱説明書

セットアップする前に必ず本書を全てお読みいただき、本書を保管して下さい。十分に本書の内容をご理解の上製品をご使用下さい。本書内容に準じない不適切な取扱いをした場合、使用者や第三者に事故をもたらす危険性があります。

梱包内容

- 完成フレーム ……1ヶ
- 天幕 ……1ヶ
- 収納カバー ……1ヶ
- 工具……1式
- 杭……4本

お問合せ先

お問い合わせ、パーツのご発注、返品、不良品等につきましてはご購入された販売店にお申出下さい。
パーツリストやその他の商品に関しては下記のホームページでご覧になれます。

イージーアップ・テント日本総輸入元　**株式会社 来 夢**

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町5769-9　TEL 059-378-6664　FAX 059-378-6436

http://www.ezup.co.jp　raimu@ezup.co.jp

SETUP 設営手順

セットアップの前に…（重要）

1 開封時に必ず梱包内容(P1記載)の物が揃っているか、またフレームの破損や天幕の縫製不良等が無いか確認して下さい。ご使用後のクレームや不良品につきましては、お受けできない場合がございます。

2 半開きにしたフレームに天幕をかぶせフレームの各面4ヶ所を固定します。

取扱注意事項

●天幕とフレームは別々になって梱包されています。
●天幕をフレームに固定した後は、面倒な収納・設営毎の天幕脱着は必要ありません。但し、テントの保管及び運搬は、常に立てた状態にして行って下さい。テントを寝かせまま保管及び運搬を致しますと、天幕生地が擦れて穴が開いてしまいますので、寝かせたまま保管及び運搬をされる時は、予め天幕をフレームから取外して下さい。
●天幕生地は撥水加工済ですが、防水性はありませんので、長時間の雨や豪雨時には適していません。
●雨加減によっては、天幕に水が溜まってしまう可能がございます。溜まった水を放置しておくと、天幕が破れたり、フレームが破損する可能性がありますのでご注意下さい。
●当商品は、一時的な使用を目的として設計されていますので、常設用ではありません。お客様の不適切なご使用、又は雨・風等の影響から発生した故障や事故等に関しましては、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
●テントの設営は平坦な場所で行い、周りの安全を確かめてから、手や指など挟まない様急がずに行って下さい。
●杭や重りを使用して、テントは常に地面に押さえ付けられた状態にして下さい。強風時や悪天候時は、杭や重りを使用してもテントが吹飛ばされて、人身・物損事故につながる恐れがありますので、使用を中止して下さい。
●使用中は、必ず大人の方がテントの状況を把握してください。小さなお子様だけでのご使用はお避け下さい。
●電源の近くや落雷時は使用を避けて下さい。感電や落雷火災等の原因になり危険です。
●火気元からテントを遠ざけ、テント内での火気使用は絶対に行わないで下さい。
●運搬時や保管時に本体を投げ下ろしたり、重いものを乗せたりしないで下さい。扱いが荒いと天幕やフレームの破損につながります。
●テントの破損や事故の原因になりますので、テントにぶら下がったり、重い物を吊らないで下さい。

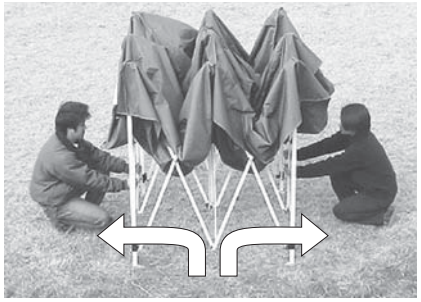
セットアップ…（大人2人で行ってください。）

1 収納カバーを取り外してください。テントを中心にして２人向かい合って下さい。お互いにコーナーポストを持ち、テントを少し持ち上げて両腕が開き切るまで後退します。

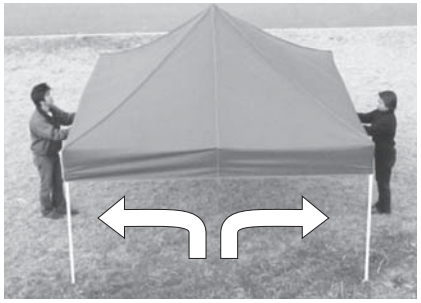
2 お互いに、写真で示している通りの位置を握ります。

EZ_TS_DR30-14_B_140331

テント全体を完全に持ち上げて、両手を引き合せるように力を入れながら後退してください。

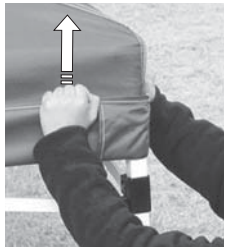


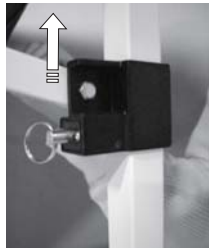
3 フレームが全開になったら、テントを静かに地面に降ろしてください。



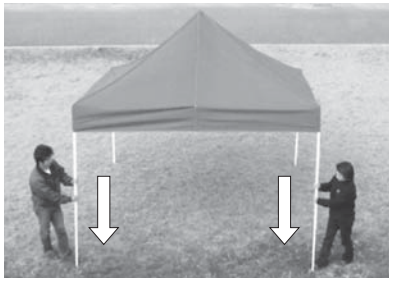
強く引きすぎると、フレームを曲げてしまう恐れがありますので、急がずに行ってください。

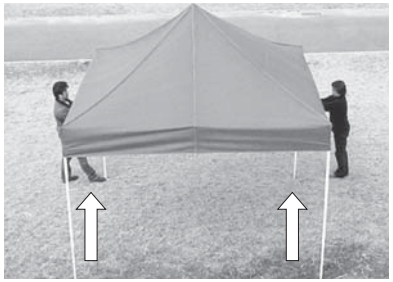
4 各支柱のスライダーをロックします。まずは天幕の角部分をめくり、片方の手で支柱上部を押さえつけます。
もう一方の手でボタンが「カチッ」とロックするまでスライダーを持ち上げます。





5 最後に各支柱を伸ばせば完成です。





必ず風対策として、杭やロープ、オプション品のウェイトバッグ等を使って、テントがとばされないようにしてください。

メンテナンス

●天幕の撥水性が低下した場合は、市販の撥水スプレー等を塗布して下さい。
●生地が汚れたら、スポンジと中性洗剤で軽く洗って下さい。
●雨などで濡れた後は、天幕とフレームを乾かしてから収納・保管をして下さい。使用後のフレームには、スプレーオイルまたはシリコン等を吹き付け、乾いた布で拭いて下さい（特にコーナーポスト部分を重点的に）。メンテナンスを怠ると、腐食・変色・かび発生等につながりますので、ご注意下さい。